

## 第3章 計画の基本構成

### 3.1 環境の保全、回復及び創造に向けた基本理念

町田市では、環境の保全、回復及び創造に向け、環境基本条例において、下記のように基本理念を定めています。本計画においても、この基本理念に基づいて、施策を策定・推進していきます。

表3 環境基本条例の基本理念の抜粋

- 【環境基本条例の基本理念の抜粋】**
- ① 環境の保全、回復及び創造は、良好な環境及び環境権の確保を図るとともに、このことが将来にわたって継続されるよう適切に行われなければならない。
  - ② 環境の保全、回復及び創造は、すべての者が公平な役割分担の下に自主的かつ積極的に環境への負荷を低減するよう行動することにより、循環型社会を基調とした環境への負荷の少ない持続的発展が可能なまちを構築することを目的として推進されなければならない。
  - ③ 自然環境及び歴史的文化的環境の保全及び回復は、生物多様性（生物種、遺伝子及び生物生息環境の多様性を含む。以下同じ。）が適切に保全及び回復されるよう行われなければならない。
  - ④ 地球環境の保全は、地域の環境が地球全体の環境と密接に関わっていることから、すべての者がこれを自らの問題として認識し、そのすべての活動において国際的な認識及び協力の下に積極的に推進されなければならない。

### 3.2 望ましい環境像

基本理念を踏まえ、本計画における望ましい環境像を掲げます。前計画においては、望ましい環境像として「水とみどりとにぎわいの調和した環境都市 まちだ」を掲げて取組を推進してきました。この望ましい環境像に込められた考え方は、本計画においても目指すべき普遍的なものです。

一方で、前計画から環境施策を取り巻く状況は大きく変化しているため、本計画では、こうした変化を踏まえ、より時代に即した望ましい環境像を掲げることとします。

町田市においては、地球温暖化、生物多様性の保全、資源循環等の環境施策の大きな動向と向き合いつつ、今ある良好な生活環境の維持に努めることで、持続可能な環境をつくります。さらに、環境と社会・経済との統合的な向上を図り、一人ひとりが経済活動・社会活動と環境保全活動を両立させていくことで、市の特徴である水とみどりの豊かさを将来に受け継いでいくことを目指します。

望ましい環境像の実現のためには、市の取組に加え、市民・事業者等の各主体が環境問題を自分ごととして捉え、行動していくことが重要です。そのため、前計画の考え方を引き継ぎながらも、市民・事業者との連携・協働及び必要に応じた他自治体との協力による行動を拡大していくことを目指す必要があります。

以上のことを踏まえ、本計画における望ましい環境像を次のとおり掲げます。

<望ましい環境像>

みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな まちだ

望ましい環境像「みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな まちだ」を達成した町田市のイメージを示しています。

市内では、太陽光発電や次世代自動車が導入され、さまざまな場面でエネルギーを賢く利用するとともに気候変動への影響に備えています。また、みどりを活用・保全し、生物多様性が守られることにより、さまざまないのちが輝いています。さらに、町田市バイオエネルギーセンターにおける生ごみの資源化の推進等が進み、ごみの減量・資源化が徹底されています。

市内は、きれいな大気質や水質を維持し、安全で快適な暮らしを実現しています。こうした取組について、さまざまな主体による協働が進んでいます。

重点プロジェクト2  
次世代自動車等の積極的な導入と多面的な活用



電気自動車や燃料電池自動車といった環境にやさしい自動車が普及しています。また、公共施設等には充電設備を設置することで、様々な場所での充電が可能となっています。

重点プロジェクト5  
フードドライブによる食品ロスの削減



余っている食品を必要な人に受け渡すフードドライブや飲食店での食べ切りといった取組を実施することで、食品ロスが削減されています。

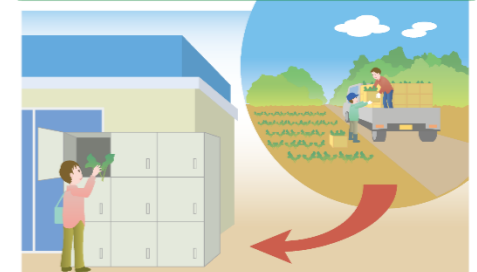


重点プロジェクト3  
里山環境の活用と保全



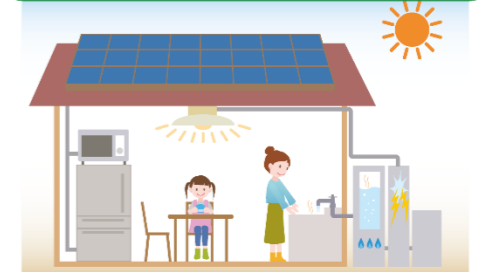
里山環境を活用して、市民農園やフットパスなどの体験ができます。また、里山の保全にも取り組むことで、今ある里山環境を守っています。

重点プロジェクト4  
地産地消の推進



市内で採れた農作物を市内の様々な場所に設置された受け取りボックスを通して手軽に受け取れることで、農作物の地産地消が進んでいます。

重点プロジェクト1  
再生可能エネルギー等の利用拡大



住宅や事業所の屋根に太陽光発電を設置し、発電した電気を利用しています。また、燃料電池を普及させることで、省エネ化や停電時のエネルギー利用が可能となっています。



### 3.3 基本目標

本計画では、望ましい環境像「みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな まちだ」を実現するための5つの基本目標を設定します。

5つの基本目標は、町田市の環境を取り巻く現状を分析・評価するとともに、課題の整理・抽出を行い、この課題解決を図ることで、各分野の目指すべきまちの姿を体現するものとして導き出しています。

望ましい環境像の実現を支えるための5つの柱として、「基本目標1 エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応するまち」、「基本目標2 源流から里山、都市が織りなす いのち輝くまち」、「基本目標3 徹底したごみ減量、資源化を進めるまち」、「基本目標4 安全で快適な暮らしを実現するまち」、「基本目標5 環境について、みんなで学び、協働を進めるまち」を設定します。

なお、「1.5 計画の対象とする範囲」で示した6つの分野と各基本目標の関連は図3.1のとおりです。

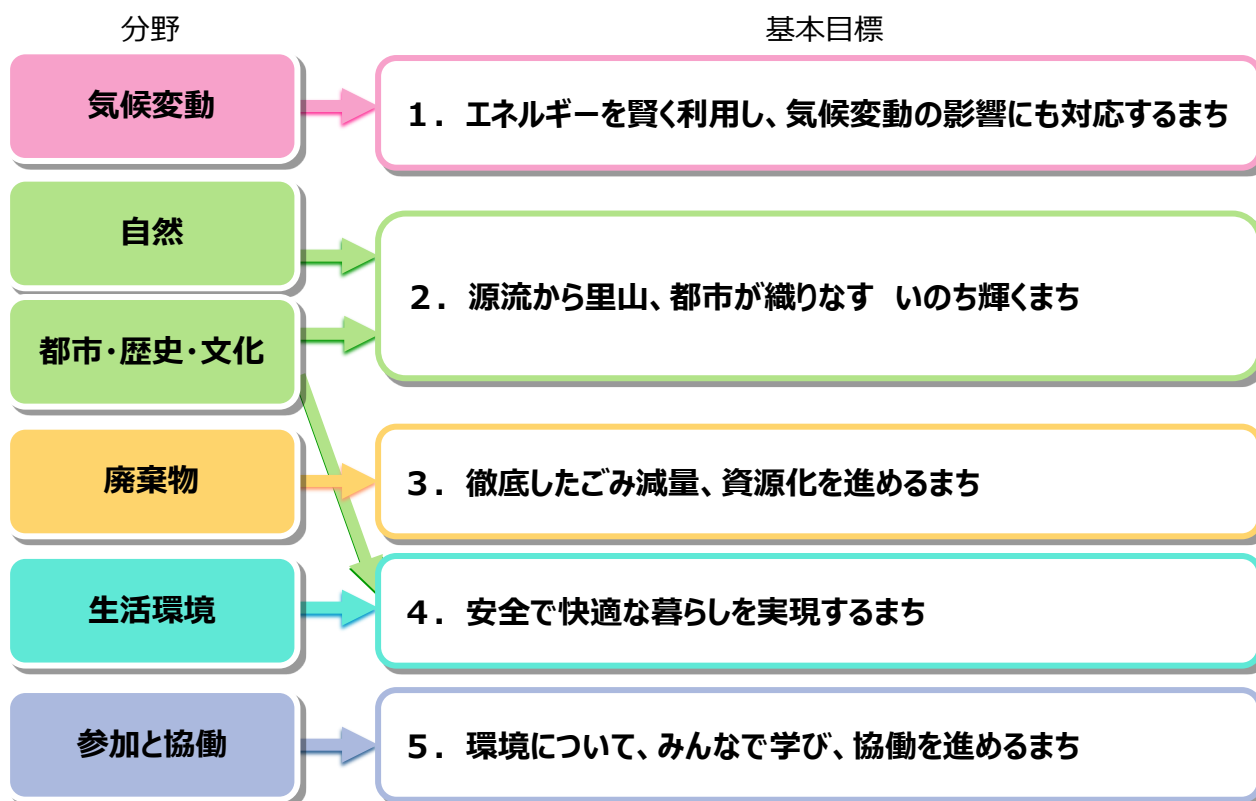


図 3.1 分野と基本目標の関係

### 3.4 施策

本計画では、基本目標を計画の実現に向けた大綱として位置づけ、その下に紐づく施策を設定しています。

### 3.5 重点プロジェクト

本計画では、基本目標の実現に向け、計画のリード役となる主要な事業を洗い出し、SDGs（環境・経済・社会）の観点から相関的なメリットの大きいものをプロジェクトとして束ね、本計画における「重点プロジェクト」として掲げています。

重点プロジェクトは、将来への展望として「まちだ未来づくりビジョン2040」とも内容の整合を取りつつ、進捗を図っていきます。

### 3.6 市の取組

施策に基づく市の取組を示しています。

### 3.7 市民・事業者の取組

施策ごとに持続可能な社会構築につながる市民・事業者の取組を示しています。

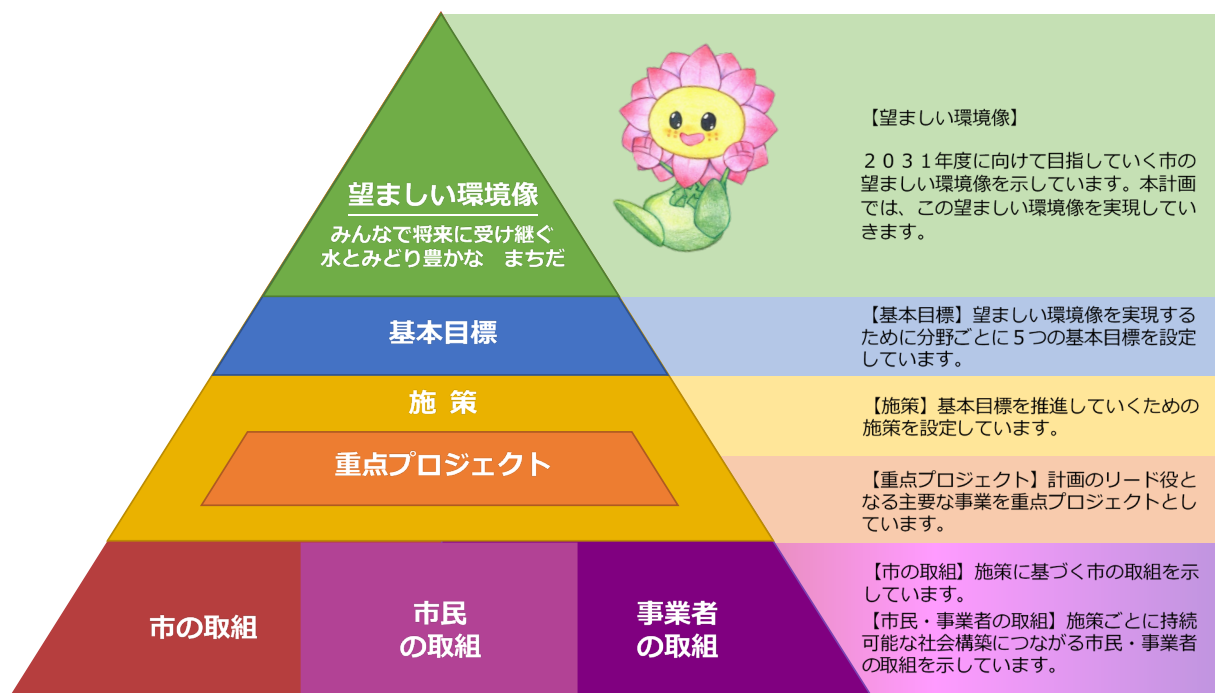


図 3.2 計画の基本構成図

持続可能な開発目標（SDGs）と第3次町田市環境マスタープランの関係			
<p>町田市がこれまでに進めてきた環境に関する取組は、多くの点で SDGs の理念や目標と合致することから、引き続き本計画の施策の推進を通して SDGs の実現に貢献していきます。</p> <p>本計画と SDGs の関係をわかりやすく示すため、望ましい環境像「みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かな まちだ」を実現するための5つの基本目標と SDGs との結びつきを記載しています。</p>			
SDGs のゴール			
<p>【目標 1】</p>	<p>【貧困】</p> <p>あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。</p>	<p>【目標 2】</p>	<p>【飢餓】</p> <p>飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。</p>
<p>【目標 3】</p>	<p>【保健】</p> <p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。</p>	<p>【目標 4】</p>	<p>【教育】</p> <p>すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。</p>
<p>【目標 5】</p>	<p>【ジェンダー】</p> <p>ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う。</p>	<p>【目標 6】</p>	<p>【水・衛生】</p> <p>すべての人の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。</p>
<p>【目標 7】</p>	<p>【エネルギー】</p> <p>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。</p>	<p>【目標 8】</p>	<p>【経済成長と雇用】</p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。</p>
<p>【目標 9】</p>	<p>【インフラ、産業化、イノベーション】</p> <p>強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。</p>	<p>【目標 10】</p>	<p>【不平等】</p> <p>国内及び各国家間の不平等を是正する。</p>
<p>【目標 11】</p>	<p>【持続可能な都市】</p> <p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間住居を実現する。</p>	<p>【目標 12】</p>	<p>【持続可能な生産と消費】</p> <p>持続可能な生産消費形態を確保する。</p>
<p>【目標 13】</p>	<p>【気候変動】</p> <p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p>	<p>【目標 14】</p>	<p>【海洋資源】</p> <p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p>
<p>【目標 15】</p>	<p>【陸上資源】</p> <p>陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p>	<p>【目標 16】</p>	<p>【平和】</p> <p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p>
<p>【目標 17】</p>	<p>【実施手段】</p> <p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p>		

### 3.8 計画の施策と成果指標

本計画では、望ましい環境像を実現するため、5つの基本目標を環境の大綱として位置づけ、その下に施策を設定しています。各施策には関連する成果指標を設定し進捗を確認します。

また、計画全体をリードしていく「重点プロジェクト」を5つ設定しています。

望ましい環境像	基本目標	施策	重点プロジェクト	成果指標			包含する分野別個別計画	
				指標名	基準値	目標値		
みんなが将来に受け継ぐ水とみどり豊かなまちだ	1 エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応するまち  関連するSDGsのゴール 	[1] 省エネルギーの普及・導入を進めます <span style="float:right">P38</span>	重点プロジェクト1 「再生可能エネルギー等の利用拡大」 <span style="float:right">P82</span>  重点プロジェクト2 「次世代自動車等の積極的な導入と多面的な活用」 <span style="float:right">P84</span>  重点プロジェクト4 「地産地消の推進」 <span style="float:right">P88</span>	●市内のエネルギー消費量	13,953TJ <sup>*1</sup> (2013年度)	9,365TJ (2030年度) ※約33%削減	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) [1]~[3]	
		[2] 再生可能エネルギーの普及・導入を進めます <span style="float:right">P41</span>		●家庭のエネルギー消費量(世帯数当たり)	32.8GJ <sup>*2</sup> /世帯 (2013年度)	22.8GJ (2030年度) ※約31%削減		
		[3] 将来的なゼロカーボンに向けたまちづくりを進めます <span style="float:right">P43</span>		●事業者のエネルギー消費量(延床面積当たり)	0.84GJ/m <sup>2</sup> (2013年度)	0.57GJ/m <sup>2</sup> (2030年度) ※約32%削減		
		[4] 身近な気候変動の影響への適応を進めます <span style="float:right">P47</span>		●市内の再生可能エネルギー導入量(累計)	37,378kW (2019年度)	48,313kW (2030年度) ※約29%増加		
	2 源流から里山、都市が織りなすいのち輝くまち  関連するSDGsのゴール 	[1] 生きものの多様性を守ります <span style="float:right">P51</span>	重点プロジェクト3 「里山環境の活用と保全」 <span style="float:right">P86</span>	●市内の温室効果ガス排出量	1,489千t-CO <sub>2</sub> (2013年度)	998千t-CO <sub>2</sub> (2030年度) ※約33%削減		地域気候変動適応計画[4]
		[2] 水とみどりを守り活用します <span style="float:right">P53</span>		●市内乗用車の登録台数に占めるEV <sup>*3</sup> 、FCV <sup>*4</sup> の割合	0.99% (2019年度)	4.57% (2030年度)		
		[3] 歴史的・文化的環境を守ります <span style="float:right">P58</span>		●気候変動の影響に備えている市民の割合	— (2022年度)	基準値から10ポイント増加 (2030年度)		
		3 徹底したごみ減量、資源化を進めるまち 関連するSDGsのゴール 		[1] 生きものの多様性を守ります <span style="float:right">P51</span>	重点プロジェクト5 「フードドライブによる食品ロスの削減」 <span style="float:right">P90</span>	●市民協働による生きもの調査への参加者数(延べ人数)		4,340人 (2020年度)
	[2] 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます <span style="float:right">P64</span>		●生きものに関心のある市民の割合	70% (2020年度)		80% (2031年度)		
	[3] 社会的課題への対応を強化します <span style="float:right">P66</span>		●みどりとのふれあいに満足している市民の割合	52% (2020年度)		62% (2031年度)		
	[1] ごみの減量を進めます <span style="float:right">P61</span>		●水辺とのふれあいに満足している市民の割合	48% (2020年度)		58% (2031年度)		
	[2] 環境に配慮した資源化施設を整備し、適正かつ安全な処理に努めます <span style="float:right">P64</span>	●みどり率	45.8% (2018年度)	現状維持 (2031年度)				
	[3] 社会的課題への対応を強化します <span style="float:right">P66</span>	●歴史・文化とのふれあいに満足している市民の割合	29% (2020年度)	39% (2031年度)				
	4 安全で快適な暮らしを実現するまち 関連するSDGsのゴール 	[1] 誰もが快適に安心して暮らせる環境を守ります <span style="float:right">P69</span>		●1人1日当たりのごみの排出量	768g/人日 (2019年度)	714g/人日 (2030年度)	整合を図る分野別個別計画 第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画 [1]~[3]	
		[2] 美しく快適なまちを維持します <span style="float:right">P73</span>		●総資源化率	31% (2019年度)	40% (2030年度)		
	5 環境について、みんなで学び、協働を進めるまち 関連するSDGsのゴール 	[1] さまざまなエコ市民の育成と協働のネットワーク構築を進めます <span style="float:right">P76</span>		●ごみの焼却による温室効果ガス排出量	約34,000t-CO <sub>2</sub> (2019年度)	約24,000t-CO <sub>2</sub> (2030年度)		
		[2] 誰にとってもわかりやすい環境情報を発信します <span style="float:right">P79</span>		●大気環境、水環境、騒音に関する環境基準の達成割合	78% (2019年度)	現状維持 (2031年度)		
				●居住地の周辺環境(大気、水質、騒音など)に満足している市民の割合	67% (2020年度)	77% (2031年度)		
				●まち並みや景観に満足している市民の割合	43% (2020年度)	53% (2031年度)		
				●環境に配慮した行動を行っている市民の割合	— (2022年度)	基準値から10ポイント増加 (2031年度)		
			●エコ宣言事業者数	92店・事業所 (2020年度)	120店・事業所 (2031年度)			
			●SNS等のフォロワー数	1,138 (2020年度)	10,000 (2031年度)			

※1 TJ: テラ (Tera)・ジュール (Joule) の略号です。テラは10の12乗を意味し、ジュールはエネルギー量の単位を表します。  
 ※2 GJ: ギガ (Giga)・ジュール (Joule) の略号です。ギガは10の9乗を意味します。  
 ※3 EV: 電気自動車 (EV) は電池に電気を充電し、その電気を使い、モーターを回して走る自動車のことです。  
 ※4 FCV: 燃料電池自動車 (FCV) は、燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車のことです。



## 町田市エコキャラクター「ハスのん」

「第3次町田市環境マスタープラン」の推進役、町田市エコキャラクター「ハスのん」を紹介します。

### 「ハスのん」のプロフィール

- 名前：ハスのん（ハスの花の妖精）
- 性別：不明
- 誕生日：11月9日（妖精なので歳はとらない）
- 身長：ちっちゃくなったり、おっきくなったり
- 体重：かるくなったり、おもくなったり
- 出身地：薬師池
- 性格：おっとり
- 特徴：しゃべると語尾が『のん』になる、光合成をし、空気を浄化させる
- 趣味：旅行、自然巡り、お散歩
- 特技：周りの人や動植物を明るく、楽しい気分にする事ができる
- 将来の夢：“町田をみどりと笑い声でいっぱいにするこゝろ”



### 「ハスのん」の活動内容

市の環境に関する取り組みをPRするため、様々な場面で活動しています。

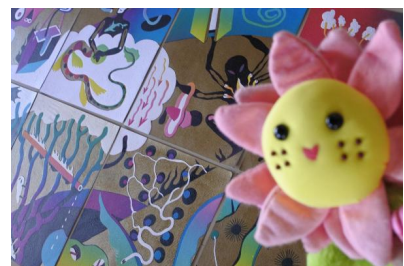
- インスタグラムやツイッターで環境情報を発信
- 環境月間イベントや町田エコフェスタなどイベントへの登場

#### 【活動報告】

2020年7月7日、FC町田ゼルビアのマスコット「ゼルビー」と一緒に、マイボトルキャンペーンPRのための写真撮影を行いました。



町田市立国際版画美術館で「インプリントまちだ展 2020」が6月9日から9月13日まで開催されました。これに伴って、再生紙を使ったアーティスト、アグンさんの作品の見学に行ってきました。



出典：町田市HP